

2026 年 10 月 27 日

ニュースリリース

ヒューマンライフコード株式会社

フィリピンで臍帯由来細胞治療事業を推進

ー 日本での技術支援・指導を完了、現地製造・事業化に向け次のフェーズへ ー

世界に先駆けて臍帯由来間葉系間質細胞（以下「UC-MSCs」）の再生医療等製品としての実用化と普及を目指すヒューマンライフコード株式会社（代表取締役社長：原田雅充、東京都中央区、以下「当社」）は、フィリピンのパートナー企業である Cordtech Medical Inc. (President and CEO: Emil Hiroaki Banno, Muntinlupa City, Philippines、以下「Cordtech」）との事業提携に基づき、当社が保有する UC-MSCs の製造技術に関する技術情報の提供および日本国内における技術支援・指導を完了しました。これにより、所定のマイルストーンを達成し、マイルストーン一時金（金額は非開示）を獲得したことをお知らせします。

当社と Cordtech は、フィリピンにおける UC-MSCs 製品の開発、製造および事業化を目指し、これまで段階的に取り組みを進めてきました。本事業では、当社が UC-MSCs の製造技術やノウハウの提供、製造施設の構築や品質管理等に関する技術支援・指導を担い、Cordtech が現地における開発・製造・販売を担います。当社は、事業化の進展に伴い Cordtech より複数回のマイルストーン一時金を獲得し、販売開始後は Cordtech の販売額に応じた所定のロイヤリティ収入を得ることとなります。

今回の達成を一つの節目として、今後はフィリピンにおける製造施設および品質管理体制の構築を進めるとともに、現地での技術支援・指導など、UC-MSCs 製品の事業化に向けた取り組みをさらに推進してまいります。

■フィリピンにおける事業展開の背景と意義

フィリピンでは、経済発展が進む一方、高齢化も徐々に進んでおり、加齢に伴う身体機能の低下や慢性疾患など、今後さらに多様化する医療ニーズへの対応が求められています。

上記の背景から、フィリピンにおいても新たな治療の選択肢として、細胞治療の可能性に関心が寄せられています。当社は、このような現地のニーズを踏まえ、日本で培ってきた当社独自の UC-MSCs の製造・品質管理技術や開発経験を活かし、Cordtech との協業を通じて、フィリピンにおける細胞治療製品

の製造・事業基盤の構築を目指しています。

当社はこれまでに、日本発の品質・技術基盤を基に、米国、アラブ首長国連邦および中東・北アフリカ地域において、臍帯由来細胞治療事業のグローバル展開に取り組んできました。今般、その対象国・地域にフィリピンが加わることで、臍帯由来細胞治療のグローバルエコシステムの事業展開をさらに加速してまいります。

■ ヒューマンライフコードについて

ヒューマンライフコードは、国産かつ備蓄可能な臍帯（へその緒）（“コード”）からの細胞製品を製造・開発し、現在でも確立した治療のない難病患者さんの生きる希望へつなげ（“コード”）、その先には健康寿命延伸につながる病気の重症化予防を目的とする未来の医療へとつなげる（“コード”）ことで、誰もが心豊かな生活を実現できる社会（“ヒューマンライフ”）を創り出すことをビジョンとしています。2019年「第1回東京ベンチャー企業選手権大会」最優秀賞&東京都知事賞受賞。東京都主催「スタートアップ・エコシステム東京コンソーシアム」が運営する「ディープ・エコシステム」の支援対象企業に選定。2023年内閣府主催「第5回日本オープンイノベーション大賞」厚生労働大臣賞受賞。2023年経済産業省によるスタートアップ支援プログラム「J-Startup」選定企業。2024年東京商工会議所主催「勇気ある経営大賞」スタートアップ部門大賞受賞。2026年東京都によるグローバルでの飛躍的成長を目指す企業支援プログラム「SusHi Tech Global Startups」に選抜。

【本件に関するお問い合わせ先】

ヒューマンライフコード株式会社 広報担当：林

TEL: 080-4671-0405 / E-mail: info@humanlifecord.com